

法政大学世界史 2月8日

I：十字軍を中心としたキリスト教とイスラーム教の関係

ネブカドネザル2世とバビロン捕囚、マニ教はウイグルの国教、イスラーム成立～拡大(税とジハード)、マラーズギルドの戦いとセルジューク朝、ルーム=セルジューク朝の首都ニカイア(現在のイズニク)、ザンギー朝(初の十字軍に対する組織的抵抗、サラディンはこの軍人)、シトー派(聖ベルナルドゥス)、騎士団正誤

II：中華民国・中華人民共和国と周辺国とソ連・東欧の戦後史

社会主義思想史(無政府主義はプルーストとバクーニン)、上海の大韓民国臨時政府は1919年、大躍進の失敗(第2次五カ年計画)、ペレストロイカ、東欧革命、北朝鮮史(中国義勇軍の支援)、ドイモイ政策(ベトナム)、2つの天安門事件

II：知識人と政治批判の歴史(19~20世紀のフランスの政治と文化)

サルトル・ヴォルテール(『寛容論』)・ドーミエ(ルイ=フィリップ批判)・クールベ(『石割り』)・ロマン=ロラン(『ジャン=クリストフ』)・マルロー(スペイン内戦の義勇兵、ド=ゴールの文化相)、ドレフェス事件、ポグロム、文化闘争、オコンネル、ロマン主義(グリム兄弟)、コミンフォルムからユーゴ除名

***カスっている単元や用語は他の学部で詳しく出題され鵜可能性あり!弱いところは再チェック!**